

高知市地域アクションプランの進捗状況等について

高 知 市 地 域 本 部

令和4年2月15日（火）

高知市地域アクションプランの進捗状況等

R4.2.15

高知市地域本部

1 地域アクションプランの令和3年度第3四半期の実施状況（総括）

(1) 総評

高知市地域の全23項目の地域アクションプランに関しては、実行支援チームを編成し、既存の助成制度やアドバイザー制度の活用等により、経営基盤や基礎的インフラの強化を図り、それぞれの目標の達成に向けて、着実に取り組みを進めている。

地域産業クラスターの取り組みでは、竹ハンドルに替わる新たな商品の開発に向けて、関係機関と連携を取り、竹材の集荷や加工・販売などの竹産産を土佐山地区に集積して拠点化し、県内各地への集材先エリアの拡大を図るなど、竹資源を活用したクラスターの形成を目指している。

農業分野では、土佐山地区のユズ関連商品について、新型コロナウイルス禍で業務用のニーズが低迷する中、「土佐山のユズ」の知名度アップと販売促進に向けて各種イベントへの参加を行った。

また、引き続き好調なインターネット販売に加え、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した都市圏での商談会への参加により売り上げを徐々に伸ばすとともに、ドローンによる防除等のスマート農業やユズ選果機の導入などにより、産地の維持や省力化による安定的な生産を目指している。

高知県産イタダリの外商については、鏡地区を中心に県内各地に栽培産地の拡大を図り、生産者と食品メーカー等で設立した「高知県イタドリ生産普及販売促進協議会」において、生産・加工・販売が一体となったブランドの確立や組織体制の強化に取り組み、生産団体の新規加入、体制の見直しが進んでいる。

観光・商工業分野では、桂浜・浦戸湾の一体となった取り組みを進めるべく、桂浜公園の観光案内所や休憩所等の整備や土産物販売店等の既存施設のリノベーションに向けての耐震化が終了し、指定管理者の指定が行われ、計画は順調に進んでいる。

浦戸湾遊覧船に新たに桂浜発着とする遊覧コースについても安全性により配慮した運航手順の策定に向けて取り組みを進めており、県内最大の観光地である桂浜公園の魅力度アップによる観光客の増加に向けての大きな一歩を踏み出した。

今後、高知市を中心とした34市町村による「れんけいこうち広域都市圏ビジョン」に登載された連携事業などの活用により、高知市を核とした県内各地への周遊観光の促進に取り組んでいく。

(2) 具体的な動き

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 キュウリの生産販売対策の強化による産地振興（高知市）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・JA高知県（春野地区営農経済センター）</p> <p>・JA高知県（春野地区胡瓜部会）</p>	<p>[指標]</p> <p>出荷量（園芸年度*）※9～8月</p> <p>出発点（R元）：10,345t</p> <p>直近値（R2）：10,172t</p> <p>到達目標（R3）：10,000t</p> <p>目標（R5）：12,700t</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取り組み状況]</p> <p>出荷量 (R3 園芸年度) : 10,364t (対前年度比 : 101.9%)</p> <p>○生産の収量・品質向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IPM 技術の推進 <ul style="list-style-type: none"> 個別巡回(4~6月、19回/9戸) (10~12月、9回/7戸) 実証ほ調査 <ul style="list-style-type: none"> (つる枯病 : 4~6月、36回/4戸 10~12月、6回/2戸) (赤色 LED : 4~6月、13回/1戸 10~12月、11回/1戸) (常温煙霧 : 4~6月、9回/1戸 10~12月、45回/5戸) IPM に関する情報提供 (黄化えそ対策協議会 6月) ・ 収量向上・生産の効率化 <ul style="list-style-type: none"> 環境制御アドバイザー事業 <ul style="list-style-type: none"> (生育調査 4~6月、13回/1戸) (個人面談 6月、1回) 実証ほの環境測定、生育調査(4~6月、77回/9戸) (10~12月、54回/9戸) IoP クラウドの利用推進(アンケート調査 5~6月) (はるかぜ便り配布 11~12月) (個別巡回 10~12月) IoP クラウドの情報提供(チラシ配布 6月) UECS 対応型環境制御装置の情報提供 <ul style="list-style-type: none"> (UECS 現地検討会 5/20) (個別指導 4~6月、4回/2戸 10~12月、12回/2戸) ・ GAP の推進 <ul style="list-style-type: none"> GAP チェックシート分析(4~5月、207戸) 生産者 GAP 分析結果のフィードバック <ul style="list-style-type: none"> (目慣らし会 12月、31名参加) GAP に関する情報提供 <ul style="list-style-type: none"> (キュウリ旬報への掲載 6月、12月) (JA 広報誌への投稿 6月) 出荷場 GAP 点検(4・6・10・12月、4回) 作業員向けの GAP に関する研修 <ul style="list-style-type: none"> (GAP 研修会 6/28、90名参加) ○担い手の確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規就農者の受入強化 <ul style="list-style-type: none"> 新規就農支援チーム会 (4・7・10・12月、4回)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>研修生の面談(4月・7月、2回)</p> <p>研修候補生のマッチング研修(4～6月5回)</p> <p>研修生候補のお試し研修(11～12月3回)</p> <p>募集活動(6月1回・7名参加、7月1回・29名参加、9月1回・9名参加、11月1回・5名参加)</p> <p>中古ハウス支援体制の検討(4月1回、12月1回)</p> <p>・経営管理の向上</p> <p>就農状況現地確認(6月1回、10月・12月14戸×3回)</p> <p>決算データ収集(5月、7回)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・生産の収量・品質向上対策</p> <p>⇒省力化、環境制御技術の普及促進 (実証試験結果等の情報提供)</p> <p>⇒黄化えそ病対策の徹底 (IPM技術の普及促進)</p> <p>・担い手の確保・育成</p> <p>⇒新規就農者の受入強化 (研修生への支援、新たな就農希望者へのPR活動)</p> <p>⇒経営管理の向上 (個別カウンセリングによる経営管理向上に向けた支援、研修会)</p>
<p>■No.3 新ショウガの生産振興(高知市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・JA高知県(春野地区営農経済センター)</p> <p>◎・JA高知県(春野地区生姜部会)</p>	<p>[指標]</p> <p>売上高(園芸年度*) ※9～8月</p> <p>出発点(R元): 8.64億円</p> <p>直近値(R2): 8.21億円</p> <p>到達目標(R3): 8.70億円</p> <p>目標(R5): 8.70億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R3園芸年度): 8.72億円(対前年度比: 106.2%)</p> <p>○腐敗事故防止に向けたチェックシートの活用、啓発</p> <p>・腐敗事故対策とGAPの連動</p> <p>目慣らし会における啓発(5・6月2回)</p> <p>出荷場GAP点検(4・6・10・12月、4回)</p> <p>作業員向けGAP研修会の開催(6/28)</p> <p>○新たな栽培技術の検討</p> <p>・ハウス内環境のモニタリング及び収量調査</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>生育調査及び掘り取り調査(4・5月、2回) R4園芸年度実証ほの設置(12月)</p> <p>[課題と今後の対応] ・腐敗事故防止に向けたチェックシートの活用、啓発 ⇒GAP点検シート利用の啓発 ・新たな栽培技術の検討 ⇒環境データ分析を通じた栽培技術の確立</p>
<p>■No.4 ユズを核とした中山間農業の活性化 (高知市)</p> <p>《実施主体》 ◎・高知市土佐山柚子生産組合 ◎・JA高知市 ◎・土佐山ファクトリー(協組) ◎・高知市</p>	<p>[指標] (1)ゆず販売額(暦年) 出発点(H30):1.6億円 直近値(R2):1.7億円 到達目標(R3):1.7億円 目標(R5):1.9億円 (2)ユズ精油等販売額(年度) 出発点(H30):3,877万円 直近値(R2):3,724万円 到達目標(R3):4,440万円 目標(R5):4,900万円</p> <p>[取り組み状況] (1)ゆず販売額(R3年産玉販売見込):1.4億円 (対前年比:84.3%) (2)ユズ精油等販売額(R3.12月末):1,931.5万円 (対前年同期比:61.1%)</p> <p>※上半期にコロナ禍による中国への化粧品の輸出減の影響で 主な取引先である香料メーカーへの納品量が減り、また、 昨年度10~11月は通常納品分に加えてスポット納品があり 約2倍の納品量であったが、今年度は通常分のみであった ため</p> <p>○安定生産 ・基本技術の徹底 発芽・開花状況の調査(4~6月、6回) 果実肥大状況の調査(7~10月、5回) 黒点病防除対策の情報提供(技術情報誌「ユズだより」 (4月、6~9月)) 開花期防除の情報提供(技術情報誌「ユズだより」5月)</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>収穫前～収穫後の管理の情報提供(技術情報誌「ユズだより」10～12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ドローン防除研修会の開催(6/6) ドローン防除の実証試験(7～9月、4回)(実証圃 7a) アシストスーツ紹介(ユズ酢玉目慣らし会 10/24) ・青果出荷の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ユズ選果機(1台)の導入支援(R2高知市農産物集出荷施設等緊急整備事業費補助金(7月)) 選果機調整検討(10～11月、3回) <p>○生産基盤の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手の確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> 複合経営モデル(案)作成(ユズ+四方竹) ・新植・改植の推進 <p>果樹経営支援対策事業による新植希望(申請4戸、42a)</p> <p>○産地のブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外の大手香料メーカー等との契約更新:10件 ・各イベントへの参加 <ul style="list-style-type: none"> (土佐山のゆずイベント(イオンモール高知:10月)、土佐山ゆず祭り(とさのさと:11月)、まるごと高知 土佐山ゆずイベント(まるごと高知:12月)) ・県内紙業メーカーのユズ精油添加の全身シート商品化(4月) ・県庁・市役所での土佐山ユズ製品店内販売の実施(5月、6月、11月) ・芳香蒸留水について高知大学との共同研究(R2年度～継続中) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○安定生産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本技術の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ⇒技術情報誌「ユズだより」における情報提供(毎月)、巡回指導の実施 ・スマート農業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ドローン防除の定着に向けた方向性検討(～3月) ・青果出荷の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ユズ選果機の追加(6台)導入(2月末予定) ・酢玉の生産量増加にともなうユズ搾汁施設の冷凍庫追加整備(2月末予定)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○生産基盤の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手の確保・育成 ⇒新規就農者支援に向けた研修の実施(1~3月) ・新植・改植の推進 ⇒新植技術指導(随時) <p>○産地のブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ユズ果汁、芳香蒸留水の販売先の拡大
<p>■No.6 「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興(高知市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(一財)夢産地とさやま開発公社 ・連携農家</p>	<p>[指標]</p> <p>販売額</p> <p>出発点(H30):1.73億円 直近値(R2):1.78億円 到達目標(R3):1.98億円 目標(R5):2.1億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>販売額(R3.11月末):1.28億円 (対前年同期比:99.6%)</p> <p>○加工品の販路開拓・拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種展示商談会への出展9回 (フェアベックス2021(4月)、三井食品フードショー2021(6月)、東海スーパーマーケットビジネスフェア(7月)、日本アクセス商談会(7月)、通販食品展示商談会(9月)、高知県産品商談会(10月)、国分中部展示会(1月)、国分西日本展示会(1月)、伊藤忠展示会(1月)) ・日曜市や各イベントへの出店 (日曜市(毎週)、ピエール・エルメ東京3店舗 高知フェア(4~7月) 大丸須磨店高知フェア(7月)、イオン高知 TSUNAGU マーケット(8月)、福祉物産展ハピテラス(8月)、阪急梅田駅高知フェア(9月)) ・インターネット販売の促進 (自社サイト「とさやまマルシェ」、Yahoo!、Amazonに加え、R3年1月~楽天、R3年9月~Qoo10にも参入) (対前年同期比:148.3%) <p>○公社全体の経営改善に向けた財務分析と課題抽出、新型コロナ対策を踏まえた経営改善計画の作成と実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興アドバイザー(課題一貫支援型 全体支援)制度の活用(オンライン会議:6/29、1/25、1/26 アドバイス会議:11/10、11/22、12/13、12/14)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・産業振興アドバイザー（課題一貫支援型 個別支援）制度の活用（アドバイス会議:1/25） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部門の売上の安定化及び拡大 ⇒人員配置の見直しによる生産性向上 ⇒既存商品のブラッシュアップ及び新商品開発による商品ラインナップの充実 ⇒商品別売上分析による仕入計画及び製造計画の見直し ⇒産業振興アドバイザー（課題一貫支援型 全体支援、個別支援）の導入による経営改善策及び成長性のある事業の収益向上策の検討と実行支援 ・営業体制の強化 ⇒SNS等を活用したネット販売強化による収益の向上 ⇒商談会等への出展（ギフトセット商品カタログ配布） ⇒日曜市や各イベント等への参加・情報発信による知名度の向上
<p>■No.8 加工品充実による直販所の活性化と食の伝承（高知市）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・JA高知市女性部直販部会(直販所「真心ふぁーむらぶ」)</p> <p>◎・加工組織なるクラブ</p>	<p>[指標]</p> <p>直販所売上高（暦年）</p> <p>出発点（R元）：9,200万円</p> <p>直近値（R2）：8,821万円</p> <p>到達目標（R3）：9,300万円</p> <p>目標（R5）：1億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>直販所売上高（R3）：8,959万円（対前年比：101.6%）</p> <p>なるクラブ販売額（R3）：3,172万円（対前年比：97.9%）</p> <p>○直販所真心ふぁーむらぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生関係勉強会（6/26） ・「直販所事業戦略策定セミナーの専門家派遣」のフォローアップ（11/1） <p>○加工組織「なるクラブ」を中心とした加工品製造の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・POSデータ分析による課題の検討、取り組みの進捗管理、製造計画の策定（4/19、6/14、8/16、11/12、1/24 5回） ・6次産業化サポートセンター事業の活用（アドバイザー選定聞き取り調査(7/5)、アドバイザー会議(9/29、11/15)、新メニュー試作会（11/26） ・衛生管理およびHACCPの手順書作成、チーム会の実施（6/14）

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ HACCP 研修会、農林水産物直販所「安心係」養成講習会 (7/27、7/29、2回) ・ 表示シール変更勉強会 (8/16) ・ 活動についての情報発信 (RKC テレビ「おはようこうちさんしん GO! (11/28)) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○直販所真心ふぁーむらぶの販売拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・顧客サービスの充実 <ul style="list-style-type: none"> ⇒昨年度実施した「直販所事業戦略策定セミナーの専門家派遣」のフォローアップに向けた支援 ○加工組織「なるクラブ」を中心とした加工品製造の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・既存商品の見直し・重点化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒バリエーションのあるメニュー作りや既存商品の見直し ⇒販売額の向上を目指し、継続してチーム会を開催 ・衛生管理と HACCP 対応 <ul style="list-style-type: none"> ⇒継続して勉強会を開催し、手順書作成を支援
<p>■No. 9 生乳加工品の製造・販売による新しい酪農経営モデルの創出 (高知市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・岡崎牧場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市酪農農業協同組合 	<p>[指標]</p> <p>加工品の販売額</p> <p>出発点 (R元) : 1,000 万円</p> <p>直近値 (R2) : 927 万円</p> <p>到達目標 (R3) : 1,100 万円</p> <p>目標 (R5) : 1,600 万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>加工品の販売額 (R3. 11 月末) : 774 万円 (対前年同期比 : 129.2%)</p> <p>※前年度はコロナウイルス感染拡大防止のため休業期間あり (対 R 元同期比 : 119.2%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新商品開発・商品磨き上げ <ul style="list-style-type: none"> ・季節商品の開発 <ul style="list-style-type: none"> イチゴを使った週替わり商品発売 (4月) 父の日用ケーキ販売 (6月) 夏季限定ソフトクリームオンコーヒーゼリー販売 (7月) <ul style="list-style-type: none"> →好評につき週末のみ販売を継続 (11月～) カボチャプリン販売 (10月) 紫イモのモンブラン販売 (10月) クリスマスケーキ予約販売 (12月)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>イチゴミルクババロア販売(1月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールケーキのギフトボックスの変更(6月) ・高知家のうまいもの大賞2022エントリー(8月) <p>○情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSの情報発信(4月～) ・テレビ高知「からふる」での生放送(5/7) ・店内での誕生日ケーキチラシ掲示(6月～) <p>○酪農教育ファームの実施等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酪農教育ファームの実施(6/24) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者の増加 <ul style="list-style-type: none"> ⇒販促・販売用のディアランドファームオリジナルシールの作成 ⇒新商品の定期的な開発 ・酪農教育ファームにおける防疫、省力化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒衛生管理マニュアルの作成 ⇒複数人が同時に使用できる聴診器等の機材の新調
<p>■No. 10 高知市の原木増産の推進(高知市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・高知市森林組合</p>	<p>[指標]</p> <p>素材生産量</p> <p>出発点(H30): 3,056 m³</p> <p>直近値(R2): 2,373 m³</p> <p>到達目標(R3): 3,000 m³</p> <p>目標(R5): 4,200 m³</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>素材生産量(R3.12月末): 1,516 m³</p> <p style="text-align: right;">(対前年同期比: 73.2%)</p> <p>※R3年度に入り現場職員が退職し、作業量が減少しているため</p> <p>○事業地の拡大、生産性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画期間を終了した「森の工場」について、伐採可能となったため再登録を予定(100ha: R3年度中を予定) ・高知市及び高知市森林組合へ県の増産支援策を紹介 <p style="text-align: right;">(5/24)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高性能林業機械の紹介、導入を打診(6/7)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林経営管理制度の進捗促進 ⇒ 森林 GIS 情報の分析により要作業地を抽出、その結果を元に所有者への意向調査を実施し、事業地を設定 ⇒ 市内で事業を計画する事業者へ森林 GIS 情報を提供 ・ 生産量拡大及び作業員の安定的な雇用 ⇒ 事業地の確保
<p>■ No. 11 イタドリの外商推進による中山間地域の振興（高知市）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎ ・ 高知県イタドリ生産普及販売促進協議会 ・ 連携農家</p>	<p>[指標]</p> <p>加工品の販売額</p> <p>出発点（H30）：89.4 万円 直近値（R2）：113.9 万円 到達目標（R3）：623.5 万円 目標（R5）：1,000 万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>加工品販売額（R3.12 月末）：110.9 万円 (対前年同期比：118.4%)</p> <p>○ 高知県内全域を対象としたイタドリ栽培産地の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鏡産イタドリ苗(ポット苗)の他地域への販売（4月） ・ JA 高知市女性部鏡支部加工部によるイタドリ加工技術研修会の実施（4/12：大野見北地区から3名参加） ・ 来年度のイタドリ一次加工品買い取りについての協議（4/15：高知県食品工業団地・集落活動センターおおのみきた） ・ イタドリの品種選抜に関する検討会（5/25） ・ 高知県イタドリ生産普及販売促進協議会総会の開催（1/19） <p>○ 加工品の販路開拓・販促活動に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示商談会への出展：2回 (れんけいこうち展示商談会 7/12、高知県産品商談会 10/26) ・ イタドリを活用した新商品の開発（H29～：6商品(開発中含む)） <p>○ ブランド化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JA 高知市女性部鏡支部加工部による県版 HACCP 第2ステージ認証取得を目指すチーム会の開催（6/16、7/14、7/30、8/11、10/6、11/17、12/17、1/12、8回）

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県内全域を対象としたイタドリ栽培産地の拡大 ⇒イタドリ栽培を始めた地域への個別技術講習等の実施 ⇒イタドリの栽培から一次加工品の出荷まで一貫した支援体制の整理と苗購入者への周知 ・加工品の外商強化・ブランド化の推進 ⇒市場ニーズに対応した原料の確保 ⇒中食向けの商品開発の検討 ⇒生産者との連携による産地視察型商談の検討 ⇒産地と販売者が一体となった組織（高知県イタドリ生産普及販売促進協議会）による事業推進体制の強化
<p>■No. 12 春野地区の農産物の付加価値向上 （高知市）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・（有）スタジオ・オカムラ ・連携農家</p>	<p>[指標]</p> <p>販売額</p> <p>出発点（H30）：6,000万円 直近値（R2）：5,754.7万円 到達目標（R3）：7,800万円 目標（R5）：9,400万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>販売額（R3.12月末）：5,244万円（対前年同期比：107%）</p> <p>○加工品の販路拡大と新たな商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百貨店・高質系量販店等への採用件数 新規取引先2社（サザビーリーグ（AKOMEYA TOKYO）、成城石井） R3 お中元への採用3社3商品（うち新規0社） R3 お歳暮への採用2社（うち新規0社） ・展示商談会等への出展1件（10/26 高知県産品商談会） ・ベルガモット関連商品数 12商品（開発中2商品） ・高知家うまいもの大賞2022 優秀賞を受賞（受賞商品「土佐ベルガモットスパークリング」） ・ベルガモットについてメディア等への露出 FM 東京「あぐりずむ」（4/7）、日本農業新聞「一村逸品」（5/24）、TBS ラジオ「地方創生プログラム ONE-J」（7/11）、日経クロストrend（8/31）、日経 style（9/20）、日経産業新聞（10/20）、RKC テレビ「おはようこうち さんしん GO!」（12/12） ・SDGs の取り組みについてメディア等への露出 TBS テレビ「あさチャン」（6/17：食品ロスの削減（きびなごのバーニャカウダソース））

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原料の供給体制の強化 ⇒栽培技術の周知、連携農家の掘り起こし ・販売拡大と外商強化 ⇒既存取引先を中心とした営業の強化による販売拡大 ⇒コロナの影響を踏まえたEC(イーコマース)強化対策 ・商品ラインナップの充実と新たな主力商品の普及 ⇒ベルガモットを軸にした新商品の開発 ⇒ベルガモット関連商品のメディア等への露出
<p>■No. 13 竹資源活用クラスタープロジェクト (高知市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(株)コスモ工房 ◎・(同)高知竹材センター</p> <p>※地域産業クラスター関連(竹資源活用クラスタープロジェクト)</p>	<p>[指標]</p> <p>売上高</p> <p>出発点(H30): 7,671万円 直近値(R2): 9,058万円 到達目標(R3): 9,500万円 目標(R5): 1.1億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R3.12月末): 5,746万円(対前年同期比: 86.1%)</p> <p>○販路拡大及び新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興センターによる事業戦略実行支援(4月～) ・工業技術センターと連携した新商品開発(4月～) ・県内建具製造業者と連携した新ブランドでの商品開発 (4月～) ・国際・ホテルレストラン・ショーへの出展(2/15～18) <p>○集材・加工体制の維持・拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹関連事業者との個別協議(6/17)(12/6) ・クラスタープロジェクト推進会議(7/30)(11/29) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主力の自動車用竹ハンドルに替わる商品開発等及び原竹の仕入れ先維持・確保 ⇒工業技術センター・産業振興センターや他事業者と連携した新たな竹材の活用検討 ⇒県外見本市等への出展による新たな製品需要の掘り起こし及び既存商品の販促活動 ⇒小規模からの積極的な注文の受け込み

<p>■No.15 中心市街地における商業、観光等の 基盤強化による都市機能の増進及び経済活 力の向上（高知市）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・高知市</p> <p>・高知市商店街振興組合連合会ほか関係団 体</p>	<p>[指標]※第二期中心市街地活性化基本計画の目標値</p> <p>(1) 中心市街地の居住人口 出発点 (H30) : 5,215 人 直近値 (R2) : 5,490 人 到達目標 (R3) : 5,252 人 目標 (R5) : 5,290 人</p> <p>(2) 歩行者通行量 (17 地点・冬季・平日休日 2 日の合計) 出発点 (H30) : 121,330 人 直近値 (R2) : 75,866 人 到達目標 (R3) : 122,639 人 目標 (R5) : 123,278 人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 中心市街地の居住人口 (R3.3 月末) : 5,490 人 (3 月末の住民基本台帳)</p> <p>(2) 歩行者通行量 (17 地点・冬季・平日休日 2 日の合計) (通行量調査は 12 月に実施、集計中)</p> <p>○高知市中心市街地活性化基本計画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 13 回高知市中心市街地活性化協議会開催 (5/17) ・内閣府へのフォローアップ(R2 実績)報告 (5/21) ・第 1 回第三期高知市中心市街地活性化基本計画策 定検討委員会開催 (11/18) <p>○街なかにおけるにぎわいづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうち春花まつり (5/3～5) ・おびさんマルシェ (4/11, 6/20) ・ドリンクラリーはしご酒大会 (11/15～19) ・イルミネーションフェスタ (11/26～1/16) ・高知市食ベタクーポン (12/16～1/31) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による中心市街地の経済及び人の 流れの停滞 <p>⇒商店街でのイベントの実施等</p>
<p>■No. 16 日曜市をはじめとする土佐の街路市 の活性化（高知市）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・高知市</p> <p>◎・出店者 3 組合ほか関係団体等</p>	<p>[指標]</p> <p>(1) 新規出店者数 出発点 (H30) : 12 件 直近値 (R2) : 17 件 (うち 7 件が新基準) 到達目標 (R3) : 20 件 目標 (R5) : 20 件</p>

(2)れんけい小間来客数

出発点 (H30) : 14,836 人

直近値 (R2) : 4,838 人

到達目標 (R3) : 9,000 人

目標 (R5) : 24,000 人

[取り組み状況]

(1)新規出店者数 (R3.12月末) : 9 件 (うち新基準は 4 件)
(対前年同期比 : 50%)

※新型コロナウイルス感染症の影響による

(2)れんけい小間来客数 (R3.12月末) : 2,284 人

(対前年同期比 : 59.2%)

※前年に引き続き 4 月以降も出店回数が減少

○活性化に向けた取り組み

・れんけいこうち日曜日出店事業 (通年)

⇒県内市町村の輪番出店

・Facebook による街路市情報の発信 (通年)

○児童・生徒・学生の学習の場としての活用 (通年)

・高知商業高校販売体験 (8/1 から不定期で開催)

・高知県立農業高等学校 (8/8 から 9 月末)

まん延防止措置の期間は出店なし

[課題と今後の対応]

○新規出店者の拡大

⇒規制緩和 (仕入れ販売事業者の募集(令和 3 年度中予定))

⇒新規出店者へのテント貸し出し事業の実施による出店サポート (新規出店から 3 ヶ月貸し出し)

○地元利用者の拡大 (リピート数アップ)

⇒イベントスペースで TSUNAGU マーケット開催 (月 2 回)

⇒地元メディアを通じた情報発信

○教育機関との連携による活性化

⇒高知県立大学等によるフィールドワークの実施

⇒田野中学校販売体験 (11 月予定) コロナで中止

○新型コロナウイルス感染症による来場者の減少への対応

⇒感染拡大状況を踏まえたイベントの実施や街路市の魅力を伝える広報の実施

⇒れんけいこうち日曜日スタンプラリー (3 月に開催予定)

■No. 18 本家よさこいのブランド力確立とよ
さこい文化の継承・発展（高知市）

《実施主体》

- ◎ ・高知市
- ◎ ・（公社）高知市観光協会
- ・その他関係団体等

[指標]

- (1) よさこい祭り来場者数
出発点（R元）：115万人
直近値（R2）：－
（R2 8/9～12 新型コロナの影響によりよさこい祭り中止）
到達目標（R3）：120万人
（R3 8/9～12 新型コロナの影響によりよさこい祭り中止）
8/19.20 2021 よさこい鳴子踊り特別演舞を開催予定
（8/6 新型コロナの影響により中止決定）
目標（R5）：120万人
- (2) 高知よさこい情報交流館入館者数
出発点（R元.1～12月）：56,638人
直近値（R2.1～12月末）：23,752人
到達目標（R3.1～12月）：57,750人
目標（R5.1～12月）：60,000人

[取り組み状況]

- (1) よさこい祭り来場者数（R3.8月末）：－
（8/9～12 新型コロナの影響によりよさこい祭り中止）
- (2) 高知よさこい情報交流館入館者数（R3.1～12月末）
：18,835人（対前年比：79.3%）
※新型コロナの影響による高知市への往来者数の減少
及び、まん延防止等重点措置適用（R3.8/27～9/26）に
伴う臨時休館のため（休館期間：R3.8/21～9/26）
- よさこい祭りの運営体制の充実
- ・競演場、演舞場の維持発展、継承方法についての勉強会や
意見交換会の開催（新型コロナの影響により中止）
 - ・「土佐学生よさこい実行委員会」ボランティア協力による菜
園場競演場の運営支援
（8/10～11 新型コロナの影響により中止）
 - ・コロナ禍での運営に向けての意見交換会の開催（随時）
- 高知よさこい情報交流館の充実
- ・春よさこいの開催（4/25 新型コロナの影響により中止）
 - ・「いろんな鳴子展」の実施（4/1～6/29）
 - ・「夏休みこどもよさこい教室」の実施
（7/1～8/6, 8/9～8/10）
 - ・鳴子づくり体験の実施（R3.1～8月末）169人
 - ・よさこい踊り体験の実施（R3.1～8月末）908人
- 県外のよさこいでの観光PRの強化

	<p>・2020 東京オリ・パラの開催延期によるプレミアムよさこい in 東京 (7/4 YouTube 配信)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よさこい祭り中止による観光入込客数の減少 ・情報交流館の臨時休館や体験メニューの休止による来館者数や体験者数の減少 ⇒交流館の企画展の充実や「よさこいリターンズ」等の代替イベントの開催 ・各種イベントの開催中止による県外での観光PRの機会の減少 ⇒県外イベントの開催状況とあわせて再開時期を検討 ・コロナ禍におけるよさこい祭りの開催 ⇒感染対策に係るガイドラインに準じた対策を実施するための協力体制の構築・充実
<p>■No. 20 桂浜公園を核とした桂浜エリアの活性化による観光振興 (高知市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・高知市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者 ・民間事業者 	<p>[指標]</p> <p>桂浜公園来園者数(暦年)</p> <p>出発点 (R元. 1～12月末) : 649,098人</p> <p>直近値 (R2. 1～12月末) : 384,589人</p> <p>到達目標 (R3) : 520,000人</p> <p>目標 (R5) : 800,000人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>桂浜公園来園者数 (R3. 1～12月末) : 344,572人 (対前年比 : 89.6%)</p> <p>○桂浜公園整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス待合所、観光案内所、トイレ等の建築・設備・電気整備に係る設計 (2～6月)、工事(7月～1月) ・園路整備設計業務 (2月～6月)、工事(10月～1月) ・船着き場周辺園路整備工事 (5月～7月) ・園路整備工事 (10月～1月) ・サイン整備仕様書作成 (6～10月)、整備(10月～2月) ・Wi-Fi整備仕様書作成 (6～9月)、整備(10月～2月) ・高知県観光振興推進総合支援事業費補助金の交付決定 (8月) ・指定期間や納付金額、指定管理者が管理する範囲等の仕様条件の検討 (～7月) ・指定管理者公募開始 (7月～) <ul style="list-style-type: none"> ・公募説明会及び施設見学 (8/3) ・提案書受付 (8/23～9/22)

	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設耐震補強工事(8月～) ・指定管理者の指定(12月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桂浜公園整備後、県内全域への観光客の周遊の促進や着地型観光商品の造成 ⇒コンベンション協会やとさてらす、こうち観光ナビ・ツーリストセンター等との連携 ・来園者の増加、滞在時間の増加 ⇒指定管理者や桂浜水族館、県立坂本龍馬記念館等との連携 ・桂浜船着き場の活用 ⇒観光遊覧船を運行する土佐レジンとの連携
<p>■No. 21 浦戸湾を活用した観光の振興 (高知市)</p> <p>《実施主体》 ◎・(株)土佐レジン</p>	<p>[指標]</p> <p>観光遊覧船の乗船客数</p> <p>出発点 (H30) : 1,064 人</p> <p>直近値 (R2) : 551 人</p> <p>到達目標 (R3) : 2,000 人</p> <p>目標 (R5) : 5,000 人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>観光遊覧船の乗船客数 (R3.12月) : 591 人 (対前年同期比 : 134.9%)</p> <p>※前年度は新型コロナウイルスによる運航・イベント中止のため (対R元同期比 : 36.8%)</p> <p>○利用客拡大に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ、HP、SNSによる情報発信(通年) ・お花見クルーズの実施(～4/4) ・さんさんテレビでの放送(4/1) ・GW期間中の子ども料金を無料化(5月) <p>○桂浜棧橋発着コースの運航に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全性により配慮した運航手順の策定(4月～) ・コンベンション協会のツアー造成に向けた取り組み (通年) ・新コース運航にかかる安全・効率化システムの構築及びPRの実施(11月～) ※産振総合補助金(ステップアップ事業)を活用 (11/4 交付決定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗船客のさらなる誘客 ⇒利用客の分析をふまえたPRの実施 ⇒桂浜公園指定管理者等の桂浜周辺事業者との連携

2 令和3年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No. 21 浦戸湾を活用した観光の振興 (高知市) ※ステップアップ事業 11/4 交付決定</p>	<p>・新コース運航にかかる安全・効率化 システムの構築及びPRの実施</p>	<p>3,393 千円 (1,542 千円)</p>